

## 保健・医療・介護の重点要求項目

- (1) 小児医療費助成は、この一年間で7市町村での対象拡大が行われ、24市町村が中学校卒業までを対象としている。小児医療費助成の県の補助基準を中学校卒業まで対象とすること。県の回答は、「国に対して要望・働きかける」としていた。11月5日の交渉では「検討していない」という回答だったので、「検討して欲しい」、「拡充した場合の費用がどの程度膨らむのかについての試算を出して欲しい」と強く要望し、「調査する」との回答だった。調査結果については、いつごろまでに出せるのか。それにもとづいた検討結果について説明願いたい。
  
- (2) 重度障害者医療費助成制度について、新規対象65歳以上除外は撤廃していただきたい。神奈川県内で年齢制限なしは10市町村となっている。茅ヶ崎市は年齢制限をしていなかったが、2019年1月から県基準にあわせるようになったように、県基準の水準に引き下げる事態が進行している。また、精神障害者2級までを補助対象としているのは6市町だけ、回答では「各市町村の実情が異なることから、協議はなかなか進まないのが現状」とあった。精神障害者は2級まで通院・入院ともに県の補助対象としていただきたい。以上の点について、小児医療費助成と同様に調査を行い、拡充した場合に引き上げる費用がどの程度膨らむのかについての試算を行っていただきたい。